

1. 20周年記念行事を終えて

理事・実行委員長 榎木 義彦

CCKの20年余りにわたる活動の集大成とも言うべき記念行事は、去る2月19日（木）千代田区神田駿河台の中央大学記念館で行われ、無事終了致しました。総員で53名（どちらか片方の出席の方がおられるため、講演会45名、懇親会37名、）の出席を得ることが出来、これまでCCKが開催したイベントの中で最も盛大に行うことが出来ました。

出席者の内訳はCCK組合員・賛助会員23名、後援をいただいた東京中小企業同友会会員11名、CCKのお客様7名、その他CCKとご縁のある方12名と幅広くお集まりいただきました。

東京工業大学太田先生の海洋プランクトンご講演をはじめ、光と風の研究所の堀内様の太陽光・風力を中心としたお話に加え内部でも神力副理事長の木質系バイオマスにはじまる日本資源の可能性等内容に巾が広がったこと、それに加えてCCKの皆さんが総力を挙げてご協力頂けたことが成功の何よりの要因と考え、実行委員長として厚く御礼申し上げます。

一つの大きな区切りはできましたが、このイベントはCCKの到達点ではなく、新たな5年、10年に向けてのスタートでありたいと考えております。

私個人からすれば果たして5年先、10年先がどうなっているかはわかりませんが、気持ちとしては皆さんとご一緒に次の節目を迎えられたら、これに勝る喜びはありません。

2. 創立20周年記念イベント開催報告

監事 福田 秀樹

平成27年2月19日（木）、キャリア・コンサルタント協同組合主催、東京中小企業家同友会協賛による『キャリア・コンサルタント協同組合創立20周年記念イベント』が、中央大学駿河台記念館にて盛大に挙行されました。CCKの関係者の皆様にご尽力いただいたことを、ここに厚く御礼申し上げます。

当日は、日本全国からお集まりいただき、講演会に45名、懇親会に36名ご参加いただきました。

第1部では、大野副理事長が総合司会のもと、まず渡邊理事長のご挨拶があり、次に東京中小企業家同友会代表理事 三宅一男様のご挨拶をいただきました。田中理事・事務局長からは「CCK20年のあゆみ」についてご紹介がありました。



当記念イベントの序論は、神力副理事長から原書房より刊行が予定されている「眠れる日本の資源」から、日本の森林資源および海洋資源の活用に関する事例についてご説明いただきました。



太田啓之先生講演

本論は東京工業大学大学院教授 バイオ技術センター長 太田啓之先生をお招きし、「日本のグリーンオイル自給をめざす」と題して、遺伝子組み換え藻類によるバイオエネルギー創成について、様々な図や写真・グラフ等を使って、その研究内容を分かり易くご解説いただきました。日本の海に豊富に存在する藻類は油分を貯める性質を持っており、これを遺伝子操作することによりバイオ燃料への活用が期待でき、今後の研究成果が待ち遠しく思いました。

第1部の後半は、登壇者の太田先生、渡邊理事長、神力副理事長に加え、東京中小企業家同友会会員の栲光と風の研究所代表取締役 堀内道夫様にもご参加いただき、榎木理事・営業本部長がコーディネーター役として「日本のエネルギー問題、これから」をテーマにパネルディスカッションが行われ、様々な意見が交わされました。

福田から「クラウドソーシング・プロデューサー」の取り組み紹介の後、平松常務理事から閉会の挨拶により第1部は終了、第2部の懇親会会場へ場所を移動しました。



神力副理事長講演



堀内道夫代表講演